

南三陸町歌津地区における 木造応急仮設住宅建設

事業体連携による地域材活用



宮城県森林組合連合会 浅野浩一郎

1

取組み実施までの経緯

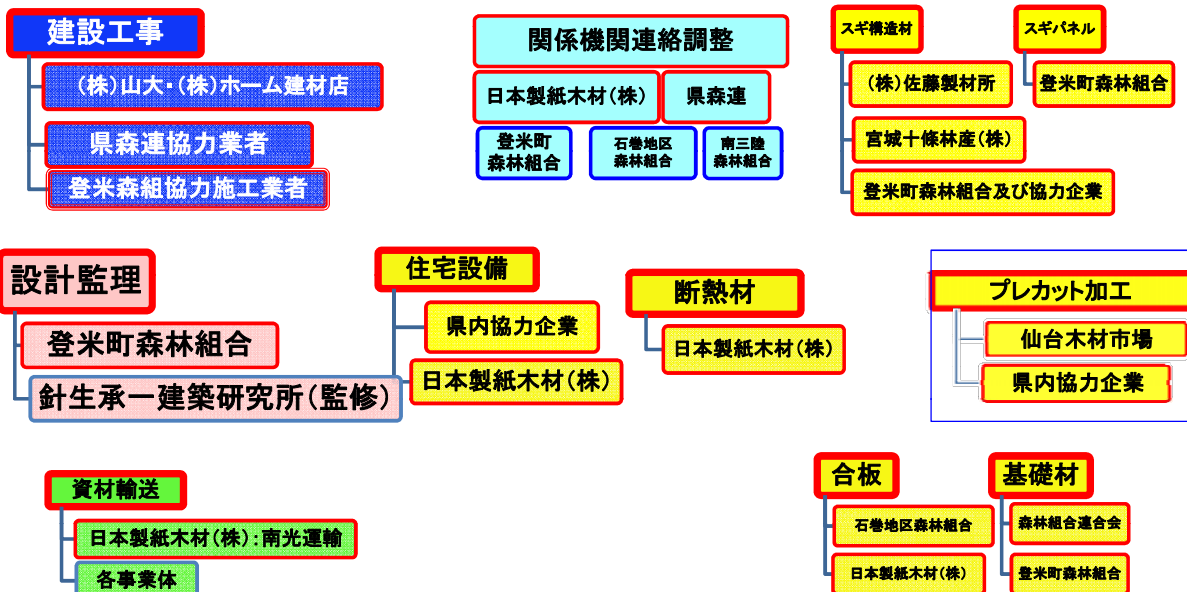
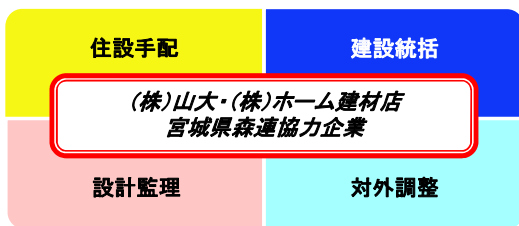
- 3月11日 ・ 東日本大震災発生・大津波被害
- 4月15日 ・ 県内事業体への要請&打合会開催
- 4月22～
28日 ・ 各事業体連携による施工体制の確立と受注体制の検討
- ・ 建設事業公募への提案書の作成と事業体連携により提案書を提出

2

木造仮設住宅建設の体制づくり (協議会の立ち上げ)

- 木材の加工供給体制の確立
- 住宅設備の供給体制の確立
- 施工体制の確立
- 代金決済体制の確立

3



4

地域材による木造仮設住宅建設

基本的なコンセプト

- 1 地域の材料で建てる
- 2 地域の技術で建てる
- 3 地域の知恵で建てる

建設の効果

- 1 販路を失った木材の有効活用
- 2 地元雇用の創出
- 3 入居者の快適性の確保
- 4 敷地条件に対応した施工が可能

5

県の公募に対する提案

協議会代表4社での申請

- 1 受注後600棟施工
- 2 地域材による施工
- 3 寒冷地に対応した施工
- 4 再利用可能な施工

6

協議会開催状況



7

事業体連携のポイント

明確な情報収集

- 資材供給
- 加工体制
- 労務体制
- 運転資金力
- 企業風土

連携調整能力

- 機動力
- 判断力
- 決断力
- 実行力
- バックアップ体制

8

南三陸町における受注

- 1 建設業者名簿(宮城県指定)に登載
↓ (77社が登載される。)
- 2 市町村は名簿登載業者に発注することが可能
↓ (宮城県から市町村のみに通知。)
- 3 被災市町村の発注業務は事実上不可能
↓ (当協議会が提案内容を直接説明。)
- 4 地元業者の施工を条件に南三陸町が発注検討
↓ (提案内容が認められる。)
- 5 完成品購入の形態で造成から建設まで一括施工

9

ベースとなった個人仮設住宅



10

個人仮設住宅の概要

- 用地：個人所有
農地転用手続き約2ヵ月
- 設計：登米町森林組合
- 施工：登米町内工務店
- 施工概要 2KType (30m²)
(ロフト：12m²付)

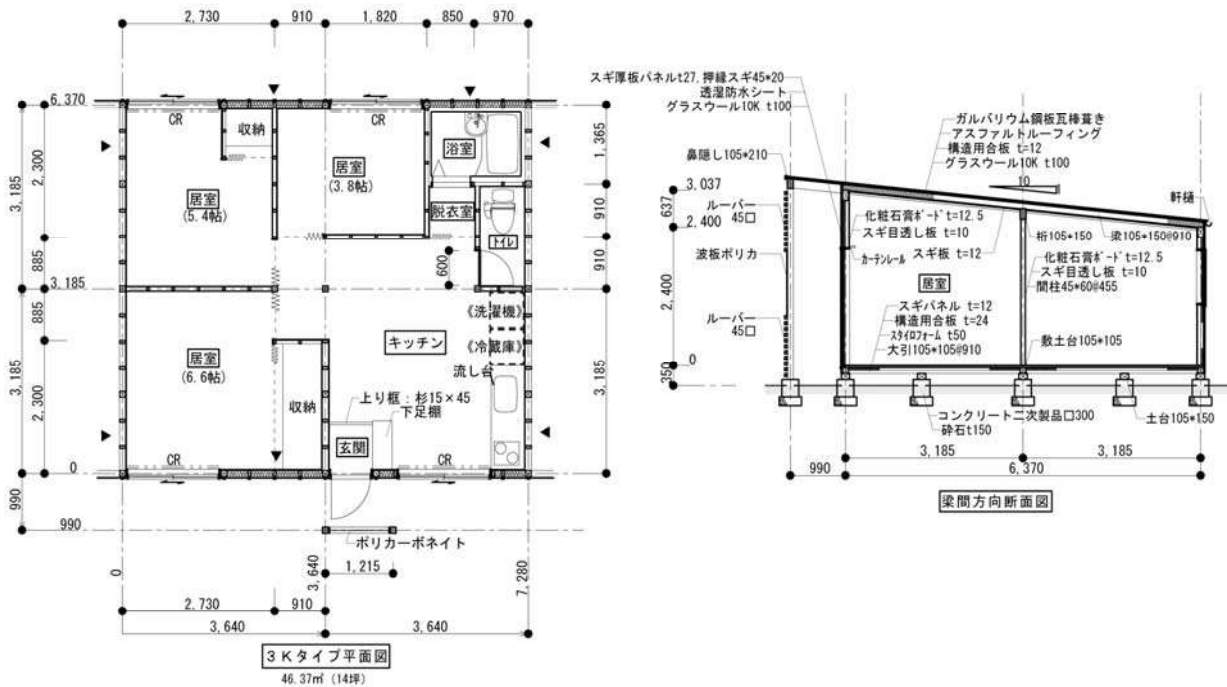
11

南三陸町における施工

- 用地造成・建設工事・設備工事一式
- 仮設住宅建設内訳
 - 1KType(2名程度) 1棟(23.2m²)
 - 2KType(4名程度) 7棟(34.8m²)
 - 3KType(6名程度) 7棟(46.4m²)
 - 計 15棟
 - 集会所(2KType) 1棟(34.8m²)

12

仮設住宅の間取り(3K)



13

南三陸町仮設住宅施工概要

工事概要

- 建築棟数 15棟+集会所
(3棟連棟タイプ 約200坪)
- 造成工事
6月24日~7月8日
- 基礎
7月4日~6日
- 木工事・設備工事
7月5日~8月2日
- 外構工事
7月31日~8月5日

主な施工業者

- 造成工事
地元建設会社1社
- 設備工事
地元設備業者3社
- 木工事
南三陸町建設職組合
登米町大工職組合
- 木材納入
南三陸町内製材所
登米市内製材所

14

施工に関する工夫事項

施工面

- 外壁のパネル化
- 束石＋二重土台
- ビス施工
- 軒出し
- 仮設工事軽減

労働力確保

- 職工組合と連携
- 大学生活用
- 森組作業員活用
- 緊急雇用活用
- 賃金支払の工夫

15

用地造成



16

• 縄張り



• 土台施工(2重土台)



• 土台施工状況



19

• 組上げ施工(秋田県立大学)



20

• 組上げ完了(上棟)



21



• 内部構造(内装前)

22

・外壁パネル製作状況1



23

・外壁パネル施工状況



24



25



26



• 慶應義塾大生による清掃

27



• 完成(外観)

28

• 完成(外観)



• 完成(内装)



• 完成(内装)



• 完成:集会所(外観)





集会所の内部です。

• 完成：集会所（内装）

33



• 完成 舗装・側溝取付

34



施工結果

資材供給

- 木材関係 ○
- 乾燥材 △
- 住設 ○
- 浄化槽 ○
- 受水槽 ○

施工

- 職人確保 ○
- 用地造成 △
- 設備工事 ○
- 木工事 ○
- 外構工事 △
- 施工管理 △

600棟施工の見込み

資材供給	施工
• 木材関係 ○	• 職人確保 △
• 乾燥材 △	• 用地造成 △
• 住設 ○	• 設備工事 △
• 浄化槽 △	• 木工事 △
• 受水槽 △	• 外構工事 △
	• 施工管理 △

37

地域材による応急仮設住宅建設



• 労働力確保



• 資金確保



• 木材確保

38

地域材活用のポイント

•発注者の明確なコンセプト

•供給・施工を考慮した設計

•地域施工体制の確立

39

これでおしまい。
ご静聴ありがとうございました。



むすび丸

復興へ
頑張ろう！
みやぎ

40